

平成24年度 第1回 地域教育力推進のためのモデル校プロジェクト会議（MP）報告

- 1 開催日時 平成24年4月19日（木）14：00～16：00
- 2 開催場所 県立教育研究所 中講座室4
- 3 出席者一覧

	モデル校	出席者
1	奈良市立若草中学校	校長、奈良市教育委員会 指導主事
2	大和高田市立浮孔小学校	校長、大和高田市教育委員会 指導主事
3	大和郡山市立郡山南小学校	校長、大和郡山市教育委員会 指導主事
4	香芝市立二上小学校	校長、香芝市教育委員会 指導主事
5	下市町立下市小学校	校長、下市町教育委員会 教育次長

〈実施事務局〉県教育委員会 人権・地域教育課

4 会議の概要

○本課事業の説明

- ・学校・地域連携事業について
- ・成果と課題について

○新しいタイプの学校運営について本課より提案

- ・新たな学校組織について
- ・校務分掌について（仮）コミュニティ部の創設

○地域教育力推進モデル校の取組の推進状況について情報交換

- ・奈良市立若草中学校



☆校務分掌…コミュニティ部を設置

☆取組・「この学校で、地域で学んでよかった」という子どもの育成が目標
 ・下校時の生徒指導、部活動の維持、低学力の克服をテーマとして取り組むたい

- ・大和高田市立浮孔小学校

☆校務分掌…コミュニティ部を設置

☆取組・地域のボランティアと学校のつながりを充実させる
 ・地域の色が出せる運動会をコミュニティ部を通して検討していく

- ・大和郡山市立郡山南小学校

☆校務分掌…コミュニティ部の設置を検討中

☆取組・読書活動、郡山南総合クラブ、放課後子ども教室、地域の祭りへの参加、生活習慣の形成、学習習慣の形成など、これまでの取組を生かしながら、支援から参画への視点で取り組む

- ・香芝市立二上小学校

☆校務分掌…地域コミュニティ推進委員会を設置する予定 教頭→GM（ゼネラルマネージャー）教務→SCM（スクール・コミュニティマネージャー）各部にコーディネーターを配置する

☆取組・二上小学校が抱える課題を明らかにし、それをテーマして取り組むたい
 ・郷土愛を育てる教育を進めていきたい

・下市町立下市小学校

- ☆校務分掌…コミュニティ部を設置、校務分掌各部にコミュニティ担当を組織化
- ☆取組・PTA総会等において、保護者への周知と理解、協力要請を行う
 - ・校区内各区長との懇談会を実施するなど、地域関係者への周知と理解、協力要請を行う
 - ・地域連携教育活動を見直し、新たな「地域との協働」活動を検討し、年間活動計画を作成する

○意見交換

- *地域の様々な団体との調整が必要である
- *小中の連携を進めることが大切である
- *プロジェクトを進めるに当たって、教員の意識を高めていかなければならない
- *学校に対する地域の関心が高く、地域の思いをいかに取り込むのが大切である
- *旧村と新興地とバランスを考えたコミュニティ部の人選が必要である
- *学校統合により、町内1校であるため、本プロジェクトを通して、まず子どもたちに人間関係の構築を図っていきたい
- *市町教育委員会として、財政措置を含めプロジェクトをどのように支援していくのか考えていく必要がある
- *県としてこのプロジェクトをどう発信していくのか

○プロジェクトの方向性について（奥田課長提案）

☆方向性について

〈「奈良で暮らす」をキーワードに自立した社会人の育成を目指す〉

具体的には、プロジェクトが動きながら構築していく形で既存事業を発展させるプロジェクトチームが組織として機能していくためには、共通の目的、協働、参画の意識、コミュニケーションが大切である

プロジェクトを進めるに当たってのポイント

- 1 校内の組織づくり
 - ・組織を変える、人の考えを変える
- 2 学校を地域に開いていくことにより、学校の器を大きくする
 - ・参画・協働のツール
 - ・コミュニティ部の位置づけ、取組の進め方は学校の実状に合わせて行う
- 3 先行の取組から一般化へ（取組を広めていく）
 - ・スピード感のある推進
 - ・進捗状況の発信する
 - ・保幼小中県立学校のつながりが大事である
 - ・家庭教育とセットで考えていく

☆今後の予定について

- ・年4回のプロジェクト会議を予定、進捗状況の発信
- ・地域教育力サミットで本プロジェクトを発信
- ・平成26年度には全小学校で学校コミュニティを実施